

越前市議会だより

第50号

平成29年(2017年)11月15日(水)
発行 編集 越前市議会
〒915-8530
福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL:0778-22-3426
FAX:0778-23-3000
http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html



福井国体をPR

本会議初日に国体応援ユニフォームを着用

9月定例会の本会議第1日目に、来年9月に開幕する「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」をPRし、市内の機運を率先して盛り上げていくため、議員、理事者全員が国体応援ユニフォームを購入し、着用しました。

このユニフォームは市民のみなさんがそろいのユニフォームを着用することにより参加意欲や機運を高めることを目的に、越前市内企業との連携により越前市実行委員会が製作した『made in 越前市』のオリジナル製品です。

今後も越前市議会は「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」の成功に向け、行政と協力し取り組みを進めていきます。



越前市議会にタブレット端末導入

越前市議会は、8月より全議員にタブレット端末を配付しました。これにより、効率的で迅速な

議会運営・議案審議、情報の共有、議会の活性化などが期待されます。

(関連記事6面)

本号の主な内容

- 2面 ◆ 9月定例会議案質疑
- 3面 ◆ 府中城址石垣に関する請願審査
- 4～5面 ◆ 11議員が市政をたず（一般質問）
- 6面 ◆ タブレット端末導入
- 7面 ◆ 議案審議結果
- 8面 ◆ (仮称)市民センターについて議論

9月定例会の概要

平成29年第4回越前市議会定例会は、9月1日から21日までの21日間にわたって開かれました。

この定例会では、平成29年度一般会計補正予算案1件、越前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例改正案など2件、市道路線の認定及び変更など一般議案2件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、本会議最終日に原案どおり可決されました。さらに、専決承認案1件が承認されました。

また、固定資産評価審査委員会委員、人権擁護委員、農業委員会委員に関する人事案17件に同意、議員の派遣1件を承認しました。

このほか地方財政の充実・強化を求める意見書など意見書案2件を可決、請願1件を採択、請願3件を不採択としました。

各会計決算認定案7件については、決算特別委員会を設置し閉会中の継続審査としました。

9月補正予算

一般会計 7億2,921万5千円の追加補正 (補正後総額 379億2,872万2千円)

- 武生東小学校東側擁壁の改修工事費を追加
- 寄附金による図書館、小中学校のモノづくり等に関する書籍を充実
ほか

9月定例会 議案審議



一般議案

■ 旧今立歴史民俗資料館と今立図書館を文化財等の収蔵庫に改修

工事の請負契約について

問 旧今立歴史民俗資料館と今立図書館2階の一部を改修することだが、工事の内容は。

答 旧今立歴史民俗資料館の展示室及び収蔵庫は、国の重要有形民俗文化財に指定された越前和紙製作用具の専用収蔵庫に、事務室はその他の文化財の収蔵庫とするもので、温度、湿度を適正に管理する設備を完備する。また、今立図書館の2階の一部は、古文書を収蔵する施設に改修する。

問 今立図書館の2階の読み聞かせや視聴覚室、会議室の機能等はどうか。

答 今年3月に市民説明会を開催し、利用者団体にも説明を行ってきた。読み聞かせなどは、市民利用機能がある複合施設(今立総合支所)で行う。施設完成までは、いまだて芸術館のロビー等を利用いただくことになっている。



今回改修される今立図書館と旧今立歴史民俗資料館

常任委員会 委員長報告

議案を審査するため常任委員会を開催しました。委員長報告を紹介します。

教育厚生委員会

9月12日に教育厚生委員会を開催し、一般議案1件及び補正予算案1件について、関係理事者の出席を求めて審査しました。

工事の請負契約の議案について、委員からは、この工事は、旧今立歴史民俗資料館および今立図書館2階の一部を和紙に関する文化財専用の収蔵庫とするための改修工事であるが、収蔵品について、関係者の希望に応じて展示を行うなど、収蔵された文化財等が日の目を見ないということがないように適切な仕組みづくりがなされるよう、との要望がなされました。

これに対し、理事者からは、該当収蔵庫は文化財等の保管場所として、適切な管理に努め、展示においては、紙の文化博物館等と連携し、展示をすすめていく、との説明がなされました。

また、別の委員からは、収蔵庫の管理体制について、ただされました。

理事者からは、温湿度管理については、モニターを図書館の事務室に設置して監視を行い、緊急の事態は、文化課にて対応する体制をとることや、夜間においては、これまでどおり民間のセキュリティ会社に委託することを検討している、との答弁がなされました。

平成29年度一般会計補正予算(第3号)中、小学校施設設備事業について、理事者からは、武生東小学校東側擁壁に生じた劣化・亀裂等による擁壁の転倒、崩壊を防止するために7月から8月にかけて行った応急処置工事の本復旧工事を実施する、との説明がなされました。

これに対し、委員からは、他の施設についても、老朽化等による同様の事案・危険性がないかを調査する考えはないか、ただされました。

理事者からは、全学校において、校長による目視を実施し、危険性が疑われる箇所については、専門家を派遣し現場を確認することで、適切な対応をとることを検討している、との答弁がなされました。

審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。



東側擁壁の工事を行う武生東小学校

産業建設委員会

9月13日に産業建設委員会を開催し、条例改正案1件、一般議案1件及び補正予算案1件について、関係理事者の出席を求めて審査しました。

平成29年度一般会計補正予算(第3号)中、水稲振興対策事業について、理事者からは、この返還金は、越前たけふ農業協同組合が補助金により取得した大屋町の水稲種子乾燥調整施設が、このたびの北陸新幹線建設関連工事に伴い支障となったことから、検討の結果、取り壊すこととなったことによるものである。返還の対象となるのは平成5年から6年にかけて建設された建物で、耐用年数が、作業場で31年、管理棟で24年とまだ処分制限期間が残っていることから、その補助金相当額を返還するものであり、農業用機械については耐用年数が過ぎており、返還の必要はない、との説明がありました。

これに対し、委員からは、施設を利用して営農していた越前水稲採種組合の今後の活動はどうなるのか、ただされました。

理事者からは、越前水稲採種組合では、本年度から施設が使えなくなるということで、昨年度まで作付していた水稲種子を、全て主食用米に切り替えており、今後も主食

用米を生産していくことである。現在保有している農業用機械を活用しながら主食用米を生産し、活動を継続していくものと聞いている、との答弁がなされました。

続けて、委員からは、これまで作付されてきた水稲種子が生産されなくなると、県内ではどのような影響が出てくるのか、ただされました。

理事者からは水稲種子については、昨年の実績で、生産された約80トン全てをJA経済連に出荷していたが、その分については、県内の他の生産地域においてカバーできるめどがついたところであり、県内の種子については影響がないことを確認している、との答弁がなされました。

また、創造・チャレンジする風土づくり事業について、理事者からは、いただいた寄附金を産業振興に役立てるため、ものづくり関連図書を購入費として、市内小中学校や市立図書館に予算配当し、図書を購入する、との説明がありました。

これに対し、委員からは、各学校で書籍を購入していることだが、例えば、それぞれで異なる書籍を購入し、学校ごとにローテーションを組んで書籍を回していくようなやり方を検討することはできないのか、との意見がなされました。

理事者からは、書籍の選定にあたっては、毎年、寄付者や産業政策課、教育委員会、学校の先生と協議する場を設け、意見交換をし、各学校で決定している。寄付者の意向としては、購入書籍の具体的な選定はあくまで学校側の権限と裁量によりなされるべきとした上で、具体的な書籍名も挙げ、寄付者の意向を伝えている。書籍をローテーションするという方法については、今後の会議の中で提案させていただいて、学校現場で可能かどうか等の意見も踏まえた上で、教育委員会と連携しながら調整していきたい、との答弁がなされました。

審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

総務委員会

9月14日に総務委員会を開催し、条例改正案1件および補正予算案1件について、関係理事者の出席を求めて審査しました。

その結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

府中城址石垣に関する請願審査

新庁舎建設に関する埋蔵文化財発掘調査中に出土した府中城址の石垣について、3件の請願が提出され、越前市議会では定例会初日の9月1日(金)に審査を行いました。

新庁舎建設の着実な完成に関する請願

採択

反対討論(要旨) 中西真三 議員

石垣の歴史的价值と現状保存のあり方を協議するために文化財関係者や設計工事関係者など専門家が集まり石垣などの歴史的价值判断やどのような保存方法が可能なのかなどについて専門家の意見を求める多くの市民の声があるにもかかわらず、市民自治を確立し市民を総括する組織である自治連合会が市民の意見に耳を傾けることなく市に従う形で、市への要望や議会への請願を行うことに不思議さを感じる。さらに、各連合会を構成する各地区の自治振興会の意見が今回の請願には集約されておらず、請願には賛成できないという役員もあり、十分協議されず、意見が統一されていない。

賛成討論(要旨) 西野与五郎 議員

新庁舎建設については、新市建設計画の変更議案や庁舎建設に関する予算案など、議会として都度議論を尽くす中で妥当な判断をした。また、7月の臨時会では庁舎建設に関するおおよそ50億円の工事契約の議案を承認したところである。今般建設予定地から出土した礎石等については、後世に伝えるために庁舎前等に再現するなどの活用を十分検討してもらうとともに、新庁舎建設については計画の変更に伴う工事の遅延、建設財源等の多くの弊害を考慮し、さらに越前市議会が議決してきた経緯を踏まえれば、計画どおり庁舎の建設を進めることが越前市の未来を見据えた適切な判断であると思っている。

府中城址石垣群等の保存に関する請願

不採択

反対討論(要旨) 川崎俊之 議員

現在地保存により設計変更や設計位置を変更すれば、受注者に大きな損害を及ぼすこととなるばかりか、新庁舎建設そのもののあり方が問題になる。また、これまでに要した費用が無駄になり、市民に新たな膨大な負担を強いることになる。出土した石垣群や礎石群を新庁舎前広場にできるだけ忠実に再現を図ることができれば、次代を担う子供たちの歴史郷土教育の資源として後世への歴史的遺産として引き継ぐことができ、新庁舎前の市民広場は市民の集いの場や交流の場に加えて歴史を感じるシンボリックな場所になり、観光名所にもなり得るものと考ええる。

賛成討論(要旨) 小形善信 議員

府中城址は歴史的にも文化的にも極めて高い価値があり、今回の発掘による大発見は越前市民にとって今までにないほどの大きな誇りである。この請願をもとに埋蔵文化財を取り込んだ庁舎を建設すれば、特色ある市役所として市内外からも高評価を受け、必要最小限の投資で特別に高い付加価値を得るものと確信する。市民憲章でも、わたしたちは国の文化と匠の技を生かし学びの輪をひろげ世界にはばたきますと誓っているが、歴史的観点からも府中城址は国府の延長線上にあり、県内他市にはない宝である。石垣群は市民の財産であり、私たちが子孫に残してやれる唯一の文化財であることを認識すべきである。

府中城址石垣の保存に関する請願

不採択

反対討論(要旨) 佐々木富基 議員

発掘された石垣群を現状で保存し史跡公園を目指すとする、新庁舎が建設できなくなる。建設工事の中止をすれば、受注者に大きな損害を及ぼすことになる上、これまでに要した基本設計、実施設計にかかった費用は無駄になり、新たな方針に基づく新庁舎建設を目指すとなると合併特例債の活用も困難になる。また、議会内でも議員間協議を行ったほか、議会運営委員会や各会派代表者会議を断続的に開催し、現在地保存の可能性について協議をした。市建設専門家からは現在地保存は新庁舎の位置、配置などを変更すると莫大な費用と時間がかかり困難との説明があり、出土した石垣群などを新庁舎広場にできるだけ忠実に再現を図ることが現時点での最善の方法と考える。

賛成討論(要旨) 吉村美幸 議員

府中城址は歴史的にも文化的にも極めて高い評価を有し、越前市がうたう歴史を大切にする文化のまちの重要な素材として、また郷土教育、観光資源などとしても大きな可能性を秘めており、今後越前市の豊かな文化都市の創造に大きな役割を担うものと確信するが、現在の市の方針は庁舎建設ありきの姿勢で、これまで保存に向けて専門家、有識者が協議検討する場は全く持たれていない。市長に対し石垣撤去の作業を一旦中止し歴史的、文化的に極めて高い価値を有する府中城址の石垣群等の現地現状での保存を検討する専門委員会を速やかに立ち上げることを求める。



今回発掘された府中城址の石垣

決算特別委員会を設置

9月定例会に提案され、閉会中の継続審査とした平成28年度各会計決算認定7案を審査するため、9月6日に議長及び議会選出監査委員を除く全議員20名による決算特別委員会を設置しました。常任委員会の構成に合わせて、総務・教育厚生・産業建設の3分科会に分かれて定例会終了後に審査し、全体会で採決します。審査結果は12月定例会で報告されます。

決算特別委員会

- 委員長 三田村輝士
- 副委員長 川崎 悟司
- 委員 大久保健一
- 委員 吉村 美幸
- 委員 加藤 吉則
- 委員 佐々木哲夫
- 委員 安立 里美
- 委員 小形 善信
- 委員 中西 真三
- 委員 伊藤 康司
- 委員 前田 修治

- 清水 和明
- 小玉 俊一
- 霜 実男
- 吉田 啓三
- 川崎 俊之
- 城戸 茂夫
- 西野与五郎
- 福田 往世
- 片粕正二郎

(総務分科会)

- 会長 川崎 俊之
- 副会長 吉田 啓三
- 委員 三田村輝士
- 委員 中西 真三
- 委員 片粕正二郎
- 委員 城戸 茂夫
- 委員 西野与五郎

(教育厚生分科会)

- 会長 安立 里美
- 副会長 清水 和明
- 委員 小玉 俊一
- 委員 福田 往世
- 委員 佐々木哲夫
- 委員 前田 修治

(産業建設分科会)

- 会長 伊藤 康司
- 副会長 吉村 美幸
- 委員 大久保健一
- 委員 霜 実男
- 委員 川崎 悟司
- 委員 加藤 吉則
- 委員 小形 善信

9月定例会
一般質問

9月定例会では、11人の議員が9月7日・9月8日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

公共交通

福井鉄道福武線への支援のあり方を示せ

問 再構築事業の申請を断念し支援期間を5年間としたがその後の考えは。また、負担割合について本市は17%が妥当と考えるが市の見解は。

答 次期支援期間が終了する平成35年度以降については、県の並行在来線対策協議会における議論や動向を踏まえ、福武線等のあり方についてもこの5年間で議論されるべきものと考えている。負担割合については、3市の利用客の状況や路線の長さ、駅数等の実情を反映させ、現在の32.3%以下となるよう協議する。

他の質問項目

・国体開催について



政新会
川崎 悟司

歴史遺産

武生公会堂記念館西側に歴史資料館の新設を検討せよ

問 本市を訪れた方々に、市の歴史を十分理解してもらえような歴史資料館の設置を望むが、市の見解は。

答 武生公会堂記念館が、越前国府1300年の歴史文化を表現し、市民の文化の創造及び発展に寄与する役割を担っている。さまざまな課題があるが、国府の文化の効果的な保存・活用を図り、地域への誇りや愛着がもたらされるよう努めていきたい。

他の質問項目

・議会・議員への説明責任の考え方について
・市職員との接し方について



誠和会(自民・公明)
大久保健一

(仮称)市民センター

(仮称)市民センター整備の費用と効果は

問 ハローワークの平和堂移転により3、4階を借りることになると、20年間の賃借料はどうなるのか。また労働と福祉の連携強化をどのように考えているのか。

答 賃借面積は現行の1.9倍となるが、賃借料総額は現行の1.5倍を目途に抑える。増額分は20年間で約8億2400万円、総額24億5000万円と試算している。またハローワークが関係機関等の近辺に移転し、労働と福祉部門が一体的に対応することで、ワンストップ型の支援が可能になると考えている。

他の質問項目

・ひきこもりについて
・市長の政治姿勢について



市民ネットワーク
小玉 俊一

歴史遺産(出土品等)保存の考え方を示せ

問 先人が残してくれた遺産を我々の時代でつぶしてはならない。その責任者は奈良市長であるし、反面、奈良俊幸個人の感性ということでもある。個人としてどう思うか。

答 私個人の責任ではなく、市長としての半分と議会としての半分だと思っている。市長部局は教育委員会と連携しながら行政の責任を担い、他方で議会から指摘いただいたことは、それぞれの立場を踏まえ議論させていただく。二人三脚でそれぞれの役割を担い取り組んでいる。

未来



中西 眞二

道路

整備予定幹線道路の安全対策を

問 福井国体までの整備が期待される幹線道路の進捗と歩行者の安全対策は。

答 一般県道福井鯖江線について、白鬼女橋(武商間)は11月に供用開始予定となっている。安全対策について、現時点で信号機の設置予定はないが、横断歩道の増設が予定されている。供用後の交通実態にあわせ、必要に応じて関係機関や県と調整していく。河渥線についても国体までの開通を目指しており、あわせて越前警察署に対し信号機の設置を強く要望している。

他の質問項目

・吉野瀬川治水対策事業について
・福武線の今後の支援について



市民ネットワーク
佐々木富基

財政

健全な財政運営に努めよ

問 悪化する経常収支比率の改善方法と不用額18億418万円の説明責任を果たすべき。

答 行財政構造改革プログラムIIIでは経常収支比率の目標は90%以内で、平成28年度決算は目標達成している。経常収支比率を下げるためさらなる経常経費の抑制に努めるとともに、市税の増収に努める。不用額については、限られた予算を真に必要な施策に使うという観点から、年度途中の状況を十分に把握して予算編成の精度を高めることで説明責任を果たしていく。

他の質問項目

・文化財保護行政について
・武生中央公園について



諸派
吉村 美幸

教育

長時間労働が深刻な教員の負担を軽減せよ

問 文科省が来年度からスクールサポートスタッフを公立の小中学校に配置する方針を示したが対象校が限られている。市単独でも実施すべきではないか。

答 国の新規事業実現には期待するが、市では昨年からの学校運営支援員制度を活用し、小学校8校、中学校2校において現場で働く教師の負担軽減に力を発揮している。学校現場を取巻く課題が複雑化する中で働き方改革に向けて学校運営体制のさらなる改善が図れるよう教育行政にまい進する。

他の質問項目

・市長の政治姿勢について
・後期高齢者(2025年問題)への対応について



自民党越前
片粕正二郎

公共施設

公共施設維持管理費に対する計画的な財源確保を

問 公共施設等の維持・補修・改修・更新に必要な関連経費の確保に向けて、どのような方策を考えているのか。

答 減築・集約・複合・廃止等のあらゆる方法を比較検討して実施し、予防保全型管理を実施することで維持管理費の縮減・長寿命化の推進を図り、将来の財政負担を軽減していく。また、財源については、国の補助金と、交付税措置のある起債や基金を活用していく。

他の質問項目

・一次避難場所そのものの安全性は
・市洪水ハザードマップの改定と情報統一を



日本共産党議員団
加藤 吉則



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるために行う質問のことをいいます。

市議会本会議・常任委員会を傍聴しませんか。

本会議や委員会は、入口で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

12月定例会日程

月日	時間	会議名
11月29日(水)	午前10時	本会議 (決算特別委員会審査結果報告、採決、提案理由説明)
12月4日(月)	午前10時	本会議 (代表質問)
6日(水)	午前10時	本会議 (質疑)
7日(木)	午前10時	本会議 (一般質問)
8日(金)	午前10時	本会議 (一般質問)
12日(火)	午前10時	教育厚生委員会
13日(水)	午前10時	産業建設委員会
14日(木)	午前10時	総務委員会
20日(水)	午後2時	本会議 (委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)

武生中央公園

武生中央公園のトイレは子ども仕様への改修が必要

問 だるまちゃん広場には連日多くの子どもが集まるが、中央公園のトイレは子どもや幼児を持つ保護者にとって利用しにくい。国も「暮らしやすい空間づくり」へと転換するためにはトイレの整備が欠かせないとしているが、市の見解を寄せ。

答 国は、学校や公園、公衆トイレを中心に、快適性・清潔性・安全性に係る施策を示している。市もこの取組みには賛同しており、必要に応じトイレを改修していきたい。

他の質問項目

だるまちゃん広場の利用状況について
公民館における社会教育事業のあり方



政新会

安立 里美

北陸新幹線

北陸新幹線南越駅(仮称)周辺の整備計画を示せ

問 丹南の玄関口にふさわしい道の駅整備を望むが、今後の計画やスケジュールは。

答 道の駅には情報提供や休憩、物産販売、飲食施設等の機能を計画している。その中で(仮称)観光交流センターについては、来年度から施設の検討などを行い、実施設計を経て、平成32年度〜33年度にかけて建築工事を実施し、33年度末の完成を目指す。また、県への重要要望の中で、道路施設に係るトイレや駐車場等部分について、同時期の完成を要望している。

他の質問項目

市長の政治姿勢について
移住人口増加を目指して



誠和会(自民・公明)

川崎 俊之

議会中継をインターネットで見よう

本会議の録画映像は見たいときにいつでも議員ごとに見ることができます。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

① 越前市議会をクリック



② インターネット議会中継をクリック



福祉

新年度からの国保制度改変で市民への影響は

問 来年度から県が国保の保険者となり、国保事業に必要な費用を各市町村に納付金として割り当てることになるが、新制度により国保税の値上げは起きないのか。また、滞納対策の強化にはつながらないのか。

答 新制度での保険税については県の方針等を踏まえ、今後開催する国保運営協議会において協議を進めるものであり、すぐさま値上げするというものではない。また、収納対策についてはこれまでどおりの取り組みを堅持していきたい。

他の質問項目

国の介護保険法改正による来年度からの市の介護保険制度について



日本共産党議員団

前田 修治

全議員にタブレット端末を貸与

効率的な議案審議を目指して



越前市議会では、効率的で迅速な議会運営・議案審議、情報の共有、議会の活性化など、市民に開かれた議会の実現とさらなる議会改革を推進するため、全議員にタブレット端末を貸与しました。これにより、予算書・決算書といった膨大な紙の資料を持ち運ぶ必要がなくなり、場所を問わず資料を閲覧できるようになりました。また、今まで郵送していた通知文などをメールで送り、スケジュールをタブレット上に反映させるなど、迅速な情報共有が可能となりました。

8月25日の全員説明会(議会に提出される議案の説明会)から運用を開始し、9月定例会は、紙資料と併用で審議を行いました。

今後も、より迅速で効率的な議案の審査を目指します。



8月25日
全員説明会での様子

【タブレット整備の概要】

使用方法 議案、予算書、各種計画書等資料の閲覧
先進地情報・議案調査項目等の検索
議会関連のスケジュールの管理

通信費の負担割合 公費50%、政務活動費25%、私費25%

行政視察報告

議会運営委員会視察報告

10月24日(火)～26日(木)

●岩手県久慈市

テーマ「災害時におけるタブレット端末の活用について」

●埼玉県戸田市

テーマ「所管事務調査の充実について」

議会運営委員会では、タブレット端末の有効活用や議会報告会のあり方、常任委員会の活性化について調査研究するために行政視察を実施しました。

久慈市議会では、実際に災害が発生したときにタブレット端末を活用して大きな効果を上げた事例を聞き、タブレット端末導入の主な目的の一つである議案審査の効率化に加え、災害時における情報の収集・共有・発信など幅広い活用の可能性を学びました。

また、議会報告会の開催に当たり気軽に意見交換できるような雰囲気づくりに努め



タブレット端末の活用について
久慈市議会担当者から説明を聞く

ており、当市議会でも参考とすべき点が多くありました。

戸田市議会では、常任委員会が所管する行政事務の調査に関し、委員会において年間活動テーマを定めて調査研究し、その結果を提言書等にまとめ市長に提言していること、説明があり、テーマ決定から提言までの仕組みや課題について意見交換を行いました。

今後も、市民に開かれた議会を目指し、議会活性化につながる取り組みについて調査研究を深めていきます。

福井国体の取り組み・地域公共交通を議論

鯖江市議会との行政懇談会を開催

鯖江市議会と越前市議会は、両市の課題や連携について協議するため、毎年行政懇談会を開催しています。

今年度は、9月25日に「福井国体に向けての取り組みについて」および「今後の地域公共交通課題への対応について」をテーマに鯖江市において開催しました。両市議会の正副議長をはじめ計25名の議員が出席し、市民への国体のPR方法や北陸新幹線



鯖江市議会議員と意見交換を行う

敦賀開業後の並行在来線のあり方などについて、活発な意見交換を行いました。

議案の議決結果

平成29年第4回越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議 案	件 名	議決結果
議案第46号	平成29年度越前市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第47号	平成28年度越前市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査(全員)
議案第48号	平成28年度越前市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査(全員)
議案第49号	平成28年度越前市一般会計歳入歳出決算	継続審査(全員)
議案第50号	平成28年度越前市下水道特別会計歳入歳出決算	継続審査(全員)
議案第51号	平成28年度越前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	継続審査(全員)
議案第52号	平成28年度越前市介護保険特別会計歳入歳出決算	継続審査(全員)
議案第53号	平成28年度越前市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算	継続審査(全員)
議案第54号	越前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第55号	越前市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	可決(全員)
議案第56号	市道路線の認定及び変更について	可決(全員)
議案第57号	工事の請負契約について	可決(全員)
議案第58号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度越前市一般会計補正予算(第2号))	可決(全員)
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決(全員)
意見書案第2号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について	可決(全員)
請 願 第 4 号	新庁舎建設の着実な完成に関する請願	採択(多数)
請 願 第 5 号	府中城址石垣群等の保存に関する請願	不採択(多数)
請 願 第 6 号	府中城址石垣の保存に関する請願	不採択(多数)
請 願 第 7 号	「共謀罪」(テロ等組織犯罪準備罪)の廃止を求める請願	不採択(多数)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：賛 反対：否)

議 案	会 派 名 議 員 名	賛 否																					
		市民ネットワーク					未来					誠和会			政新会			共産		自越		諸派	
		小玉 俊一	霜 実男	吉田 啓三	三田村 輝士	佐々木 富基	佐々木 哲夫	小形 善信	中西 眞三	伊藤 康司	福田 往世	大久保 健一	清水 和明	川崎 俊之	前田 一博	安立 里美	城戸 茂夫	川崎 悟司	加藤 吉則	前田 修治	西野 与五郎	片粕 正二郎	吉村 美幸
請願第4号 新庁舎建設の着実な完成に関する請願(採択)		賛	賛	賛	賛	賛	否	否	否	否	否	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	退席	退席	賛	賛	否
請願第5号 府中城址石垣群等の保存に関する請願(不採択)		否	否	否	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	否	議長	否	否	否	退席	退席	否	否	賛
請願第6号 府中城址石垣の保存に関する請願(不採択)		否	否	否	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	否	議長	否	否	否	退席	退席	否	否	賛
請願第7号 「共謀罪」(テロ等組織犯罪準備罪)の廃止を求める請願(不採択)		否	否	賛	賛	否	否	否	否	否	否	否	否	否	議長	賛	否	賛	賛	賛	否	否	否

(注) 議長は採決には加わっていません。

誠和会：誠和会(自民・公明) 共産：日本共産党議員団 自越：自民党越前

前田 一博

福井県後期高齢者医療広域連合
福井県議会議員

組合議会議員

9月定例会議会人事

杉本 寛重 氏(小野谷町)

直井 彌右衛門 氏(西檜尾町)

富田 隆 氏(国兼町)

岸梅 哲次 氏(入谷町)

見延 賢司 氏(国中町)

増田 正一 氏(余田町)

小柳 るみ 氏(南二丁目)

野村 宗雄 氏(矢船町)

田邊 勝繁 氏(菅浦谷町)

相馬 秀夫 氏(寺地町)

上良 康夫 氏(白崎町)

片岡 秀雄 氏(塚町)

小柳 忠敬 氏(北町)

山本 保恵 氏(本多二丁目)

倉橋 宏実 氏(村国二丁目)

岩坂 桂子 氏(粟田部町)

田中 才喜 氏(豊町)

農薬委員会委員の任命に同意

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

固定資産評価審査委員会委員の
選任に同意

9月定例会で採決された人事

(仮称)市民センター整備事業は再検討すべき

市長が6月定例会本会議初日の市政運営所信の中で、アルプラザ武生3階を借り上げ、4階と一体的に利用する(仮称)市民センターの構想を表明したことを受け、越前市議会内でその妥当性について慎重に議論を続けてきました。総務委員会及び議員協議会での議論を重ねた結果、これまでの行政側の説明ではこの事業の妥当性を判断できないため、4項目について再検討を行い、改めて資料の提示と説明を求めるとなりました。

(仮称)市民センターの概要

ハローワーク武生の越前市福祉健康センターへの移転を機に、市福祉健康センターを従来の福祉と健康増進のための施設から、教育や子育て、就労、さらには市民活動を支援する機能に拡充した施設に整備する。

平成32年4月から20年間、アルプラザ武生4階(4,412㎡)は継続して賃借し、3階(約4,900㎡)を新たに賃借する。新たに3階には、子育て支援施設として大型の屋内子ども広場を設置するとともに、市民団体等の活動拠点となる市民利用機能を整備し、4階にハローワーク武生(約1,000㎡)が移転する予定である。

協議経過

- 6月9日 市長が本会議において(仮称)市民センター構想を表明
- 6月22日 総務委員会
- 6月27日 議員協議会
- 8月25日 全員説明会(アルプラザ武生3、4階のイメージ図及び賃借料の案等の提示)
- 9月14日 総務委員会
- 9月19日 議員協議会
- 9月28日 総務委員協議会
- 10月6日 議員協議会

協議での主な意見

整備の目的

20年前社会福祉協議会から社会福祉センターを建設してほしいという話があり、建設する寸前までいったが、平和堂建設の話があり、その4階に福祉健康センターが入ることで円満解決した。4階を市が借りて使い続けるという視点と3階を新たに借りるという視点はベースが違う。駅前全体の青写真が見えないし、急に3階を借りるという話が出たのではないのか。

集約することで、こういう経費が削減され投資できるのか見えてこない。統廃合に係る経費も試算し、施設整備や、集約して削減できる負担、施設を借りる場合の初期投資や維持管理や人件費などの経費を示してほしい。

市立地適正化計画との整合性

機能を集約するというのはいい考えである。

それぞれの公共施設の設立の趣旨を整理し、何でも集約すればいいというものでもない。

屋内子ども広場は唐突に出てきているので、駅の横に子ども広場が本当に必要なのかどうか議論していかないといけない。それも踏まえ、センチュリープラザを含めた駅前の構想を出してもらいたい。

越前市の厳しい財政状況や人口減

少、高齢化で維持管理が財政負担になるということを考えると、3階を借りる目的が市民に理解してもらえないか、現在のままでは議会として適正な判断ができない。

センチュリープラザについて

ハローワークが4階に来たときにスペース的にはみ出る部分は、新庁舎が完成する31年になれば、センチュリープラザもだいぶ空くので、その部分がセンチュリープラザにいくことも考えられないか。

3階の屋内子ども広場のイメージ

3階の大型の屋内子ども広場をつくる動機が見えてこない。

3階の市民利用機能

国、県の公共施設や他にある機能を集約するように使っていくらどうか。市民団体等の活動拠点、いわゆる市民団体と連携するような、市民団体関係の事務所を集めるという表現になっているが、生涯学習センターと市民ホールで使っていた会議室やいろんな打ち合わせなどの機能がかなり縮小されるという懸念がある。

アルプラザ武生3、4階の賃借料

民間企業に50億のお金を出すのはいかなものか。

初期投資としてどれくらいかかるのかといったような予算面が出てこない判断ができない。

維持管理も含めた数字が出てこないとなんか必要でやっていけるか分からない。

上記の意見を踏まえ要請文を作成し、10月6日(金)の議員協議会での了承を経て、10月13日(金)に正副議長が直接市長へ要請しました。

市長あて通知文

(仮称)市民センター整備事業については、これまでの説明では当該事業の妥当性を判断できないため、左記の4項目について再検討を行い、改めて資料の提示と説明を求めます。

1 総合計画や各種計画との関係

この事業は、総合計画や中心市街地活性化基本計画等の計画に結びつくのか、また公共施設等総合管理計画の中のアルプラザ武生3階、4階及びセンチュリープラザの位置づけを明確にし、市内の公共施設の設立趣旨を踏まえて具体的な統廃合の方針、配置構想を示すこと。

2 屋内子ども広場の必要性

JR武生駅周辺に屋内子ども広場を整備する必要性を示すこと。

3 事業を取り巻く状況

平和堂の戦略や運営方針が分かる資料を示すこと。

4 全体の事業計画

(仮称)市民センター整備事業の妥当性を議論するに当たり、次の点について精査検討を行い、全体の計画を示すこと。

- 1) 整備する場合の初期投資額、施設運営に関する人件費及び維持管理費等を含めた全体事業費を示すこと。
- 2) ハローワーク武生のほかに、国や県の公共施設や、民間の公共的な施設の誘致を検討すること。
- 3) 賃借料は可能な限り安くするように交渉すること。

議会モニターだより

福井県議会の

予算決算特別委員会を傍聴

第3回と第4回の越前市議会モニター会議が8月31日(木)、9月26日(火)に開催されました。

9月26日は、モニター活動の一環として、午前中に福井県議会において議場見学及び予算決算特別委員会を傍聴し、越前市議会以外の議会における議事運営や議案審査を研修してきました。

午後からは越前市に戻り、議会運営委員会委員との意見交換を行い、県議会や市議会9月定例会を傍聴して感じたことなどについて、議員と意見を交わしました。



福井県議会事務局職員から説明を受け議場を見学

問合せ先

市議会事務局

Tel (22) 3426